

まちのわだい

老人会と園児が楽しいもちつき

町立第四保育所

十二月十二日、町立第四保育所（田端なお子所長・百九人）で「もちつき」が行われました。

この朝、木山老人クラブ（梅田隆義会長・百九十人）の有志十三人が用意したうすやきね、蒸し器が持ち込まれ、さくら組、きく組、ふじ組の園児七十四人で四十キのもち米をつきました。

暖かい日差しを浴びた園庭では、まず老人クラブの男性たちが、模範を示し、園児たちひとりひとりが、きねをふるいました。



代わる代わるきねをふるいました



つき上がったおもちを丸める園児たち

つきあがったもちは、作業台に次々と移され、女性陣が手際よくまるめて、園児たち
に手渡すと、園児たちはわれ
先に受け取り、丸もちに仕上
げていきました。
つき上がったもちは、この
日少しずつ試食し、あとは子
供たちが持ち帰りました。
地区の老人クラブと第四保
育所が一緒に催すのもちつ
きは、二十六年ほど前から続
く、伝統の行事です。

「お仕事ご苦労さま」

第5保育所の園児たちが職場慰問

「お仕事ご苦労さまです」—勤労感謝の日を前にした11月18日、第5保育所（石川美根子所長）さくら組の園児25人が、地区内にある福田郵便局とJA上益城福田支所のガソリンスタンドを訪問し「いつも、おしごと、ごくろうさまです」と書いた手作りのパネルとマツボックリで作ったクリスマスツリーをプレゼントしました。

パネルは、全員が描いた自分自身の似顔絵もついたかわいい出来栄。ツリーはマツボックリと保育所で育てた千日紅の花をあしらったミニチュア飾り。

福田郵便局では、山内明局長ら職員3人が、園児たちからの心のこもった贈り物を受け取り「すばらしいプレゼントで励みになります。大事に飾っておきます」とニコニコ顔でした。



山内局長にプレゼントする園児たち

農林水産大臣から感謝状受賞

たにかわふみ お

谷川文夫さん（内寺）

10月21日、熊本市の交通センターホテルにおいて「統計の日」（毎年10月18日）を記念して「農林水産大臣感謝状伝達式」（九州農政局統計部主催）が開催されました。

この中で、農林水産省が実施する農林水産統計調査に長年にわたって協力された方々（県内で42人）に対して、農林水産大臣から感謝状が贈られ、九州農政局実重局長から手渡されました。

本町からは、谷川文夫さんが、農業経営統計調査に25年間の長きにわたり、協力されたことに対して受賞されました。

おめでとう
ございます。



農林水産大臣から感謝状を受賞した谷川さん